



上野村の手仕事

上野村ふるさと納税カタログ
～手仕事編～



上野村商工会長よりご挨拶

弊会は群馬県で一番会員数が少ない上野村の商工会でございます。当村は関東一の清流「神流川」が流れ、環境省の学術保護林となっている「しおじの原生林」などがある山里の村です。

当村の特産品は地元群馬県以外では出回ることが少ないため、なかなか皆様のお近くでご覧いただくことができませんでした。そこで、このたび本誌を発行し広く皆様にご紹介致します。

当村には群馬県ふるさと伝統工芸士の認定を受け、国産ろくろ細工の第一人者として知られる今井正高氏や、竹工芸家として数々の受賞歴がある青木岳男氏のお二人の伝統工芸士をはじめ、多くの作家が技術を磨いております。

ふるさと納税を通じて弊会の小規模事業者を応援頂きたくお願い申し上げます。

上野村は春の花々から新緑、秋の紅葉と四季の移ろいが大変きれいですので、是非一度上野村にもお出かけください。多くの方のご来訪を心よりお待ちしております。

上野村商工会長 黒澤昭司



創造の森

上野村は広葉樹林が多く、四季の彩りを身近に感じることができます。また樹齢300年を超える木々が立ち並ぶ原生林も存在しています。

その豊かな森は20名近い上野村の作家たちに影響を与えています。上野村の大自然をデザインに取り込んだり、上野村の大自然をそのまま作品に使用したりその使い方は人それぞれです。

手仕事ですから同じような物は作れても、まったく同じ物を作ることができません。物によっては一つ作り終えるまでに5年も6年もかかることもあります。同じ形だとしても木目なども違いますので真に一期一会です。

使って頂く方に喜んで頂くことだけを思い
仕上げた一品を是非お楽しみください。





CRAFTERS
~ CLOTHS ~

あん

An

一時期上野村を離れていたが、故郷で起業したいとの思いが強まり、元々得意としていた布製の小物、服などを作製している。最近では竹籠などに布を貼り合わせる伝統工芸品「一閑張り」も作っている。

自分自身が好きだと言うこともあり、常に新しい物を研究し続け、お客様に喜んで頂けるように心がけている。その探究心はつきず、一步でも外に出ると目にする物の全てがアイデアにつながっている。

同じデザインだとしても使う生地によって全く作品の印象が違うのは作っていて飽きないところ。作者自身が好きではなくてもお客様にとっては好きなこともあり、いろいろな手法を試している。

和小物に使う生地は着物をリメイクして作ることも多いが、古い着物には味わい深いものが多い。柄一つとっても今では作られていない貴重な物もあり、そのような貴重な物は創作意欲をかき立てる。

令和元年に自宅の一角を改装し、工房を構えている。工房には財布から、バッグ、服にいたるまで全て手作りの布製品にあふれている。

自分で作るのも楽しみだが、今後は裁縫教室も開いていきたいと考えている。上野村では女性は針仕事を覚えさせられたもので、今でもできる人は多い。教室を開催することで高齢者の憩いの場所を作りたいと考えている。

まだまだやりたいことはたくさんある。縫い物を通じて思いの丈を表現していきたい。

代表者 二階堂 安子

住 所 上野村檜原3040

電 話 090-4743-6057

H P <https://an-clothes.jimdofree.com/>

作 品 布製品（小物、バッグ、服など）





紬樹の雫

Yukinoshizuku

平成15年にNPOが主催する「緑のふるさと協力隊」という過疎地で一年間ボランティア活動を通じて上野村に来村した。翌年から森の体験館で観光客向けにそばうちや染め物体験などを指導しているうちに、草木染めの魅力に惹かれ約10年前に独立した。

上野村の自然からいただく色にこだわり、染料は全て上野村産の草木を使用している。草木染めは難しくもあるが楽しい。同じ植物でも部位によって色が異なるし、さらには採取する時期によって仕上がりの色も風合いも全く異なる。その時期を逃したら良い色は出せないからこちらも真剣勝負。是非使って頂くお客様にも上野村の四季を感じてもらいたい。同じ植物を使ってもここでしか出せない色がある。

また煮出し方、天候や気温などでも思った通りの色が出ないことがあるが、それはそれで思いがけないきれいさを生み出すこともある。最近は緑色を出すことにこだわっている。緑色の植物でも緑色になるわけではない。植物を煮出しているので、いろいろな成分が溶け出している。人の目には同じ色に見えるが、様々な色が合わさって一つの色を形成している。

色をちゃんと出すには採取時期にもこだわるので植物から自分で育てていくしかない。今後は布からこだわっていきたい。今は市販の布地を使用しているが、最近では繭から糸を紡ぎ生糸にしてそれを染めている。

草木染めの良いところはどんな色ともけんかしないことだ。上野村の自然の美しさを身にまもってほしい。

代表者 三浦 由紀

住 所 上野村乙父1016-4

電 話 090-4907-1814

メール yukishizuku17@gmail.com

H P <http://www.yukinoshizuku.com/>

作 品 草木染 (ストールなど)

CRAFTERS
~ WOODEN ~

今井挽物工芸社

Imai-hikimono-kougeisha

上野村生まれ。上野村の木工品の第一人者。昭和40年代に上野村が地場産業として木工品の製造を始めるために、当時役場職員の身分であったが神奈川県小田原市に2年間修行に出る。

小田原市ではろくろで盆を作る技術を習得したが、その後漆器で有名な山中（石川県）での修行を経て独立し現在に至る。

国産の樺材にこだわり、材料の買い付けから、けがき、製材、粗挽き、内側の仕上げ、外側の仕上げ、研磨という工程の全てを1人で行っている。道具だって市販の物は使用できず、自分で鑿（のみ）から鍛冶で作り上げなければならない。1個作るまでには早くとも半年かかる。

やればやるほどろくろは奥深い。40年以上やっても未だに納得できる作品を作れたことがない。一日でも仕事を休めば感覚が狂ってしまう。時代により薄く重ねられる物や、スプーンですくいやすい器などニーズが変わり日々技術を鍛錬している。

有名産地は全て分業になっているし、盆と椀では作り方が全く違う。この二つを一人で完成させることができる職人は日本でも数人しかおらず、その一人であると自負している。

都内の飲食店から「全国を探したが、希望に合う器を作れる職人は他にいない」と特注の器の受注もある。

2019年2月 群馬県ふるさと伝統工芸士 認定

代表者 今井 正高

住 所 上野村勝山640

電 話 0274-59-2259

H P <https://www.imai-kougei.site/>

作 品 木工ろくろ工芸（椀、盆、鉢など）





木まま工房

Kimama-kouboh

約30年前に田舎暮らしをしたくて上野村に移住。今は人口比で2割近くいるが、上野村のIターン第1号。上野村森林組合での修行を経て独立。独学で技術を深めてきた。

櫛材を中心に使っている。主に子供向けの物を作っており、玩具や子供用家具などを得意としている。丸みを帯びたデザインを特徴とし、丸みを帯びたデザインは大人が見てもちょっとかわいいインテリアになる。丸めると言うことはそれだけ手間がかかるが利用者の満足度には変えられない。

子供が使うということは、どんな状況で使用されるかわからないので、頑丈に作るとともに、角で怪我しないように丸めなどの加工を徹底している。例えば子供椅子などは大人が乗っても問題ないくらいの強度を持たせている。玩具などは子供が口に入れるかもしれないので飲み込めない大きさにする無塗装で安心安全な物を提供することを心がけている。

長く使っていただける物を作りたい。最近では子供のころに使っていた人が親になり、その子供のためにと注文してくださるお客様も増えてきて職人としてとてもうれしいことである。20年来木工の仕事をやってきて、構造の問題でクレームになったことはないことは自慢できる。

愛子内親王殿下が2歳の時にお使いになったアニマルチェア、アニマルテーブルを手がける。

平成10年度第1回グッドデザインぐんま大賞受賞（アニマルチェア）

代表者 大野 修志

住 所 上野村新羽1365-1

電 話 0274-59-2964

メール ueno2964@uenomura.ne.jp

H P <http://e-kimama.com/>

作 品 子供用木工品（玩具、小物、家具など）

こるぽっくる

Korupokkuru

心にゆとりを持った暮らしをしたいと平成5年に上野村に移住し、元々ものづくりが好きだったので上野村森林組合と木まま工房で修行後独立。

メインはドールハウスを制作しているが、キーホルダーやペン立て、額、ダストボックスなどの小物も製造している。木それぞれの長を活かしたものづくりを心がけ、シンプルで長く愛されるデザインを特徴とする。

店名の「こるぽっくる」はアイヌ語で露の葉の下にいる人の意味で妖精を表しており、自分の作品もお客様のそばでほほえんでいたいとの思いで名付けた。

木は切った後も生きていますので難しい。木目に対して縦方向には動かないが、横方向には動く。そのことも計算して制作しなければならない。長く使ってもらうために通常よりも多く契（ちぎり）を入れたりして、十分すぎるだけの強度を持たせている。また仕上げに当たっても単純に塗装してしまうのではなく、木目や質感が最大限活かされるように使う材質によって変えるなどの工夫をしている。

木材は貴重な資源であるとの思いから、材料は余すことなく使い、その命に感謝して作品を仕上げている。上野村の自然や人間関係なども大きく作品に影響を与えている。

今までは万人に受けるデザインだったが、これからは本物を求める人のためのとがった商品も手がけていきたい。

代表者 辻 弘之

住 所 上野村川和字門川373-1

電 話 0274-59-2941

メール ueno2941@uenomura.ne.jp

H P 開設準備中

作 品 木工品（小物、ドールハウスなど）





匠平工房

Shohei-kouboh

練馬で建具職人をしていましたが、田舎暮らしがしたいと平成11年に上野村へ移住。上野村森林組合で修行の後独立。作品としては注文家具が多い。ホゾ組の技術と組子を取り入れた物を得意とする。最近は「秋、酒蔵にて」というイベントに参加したことをきっかけに食器のおもしろさに目覚め、漆塗りのぐい呑みなどを制作している。

注文家具の製作に当たっては、なるべく上野村産の素材を使うようにしているが、お客様の希望により材料を選ぶようにしている。上野村には貴重な300年生のしおじの木などがあるが、今はもう取ることができない。今ある材料を大事に使っている。

食器の制作に当たっては、木は木目も違えば、質感もそれぞれ異なる。その素材の良さを活かしながら作ることを念頭に置くと一点物になることが多い。木目の良いところだけを厳選すると木材の中でも使用できる場所は1カ所しかなかったりして、大きな木材から1個しか作れないことも多々ある。しかしながら一点物だから浮いてしまうデザインではなく、複数の食器を並べたとしても、空間に調和しつつもそれぞれの個性を失わないように仕上げている。

漆には天然の殺菌効果があるので、水が腐らず長持ちさせることができ、花器などにも向いている。漆を塗る際には人の倍以上の手間をかけて塗っているので剥がれ落ちることも少なくなっている。

グッドデザインぐんまをはじめとして様々な評価を獲得。

一級技能士（建具）

代表者 宮島 靖夫

住 所 上野村新羽1366-1

電 話 0274-59-3966

メール ueno2275@uenomura.ne.jp

H P <http://shouhei.org/>

作 品 木工品（器、小物、家具など）

丸山木工房

Maruyama-mokkouboh

大学を卒業後、木工技術の習得を目的に上野村に移住。村の研修施設で修行の後独立。日々暮らしている上野村の自然からインスピレーションを得ている。

注文家具を主に作っている。家具はテーブル、椅子、食器棚など全般を作製している。

注文の際にはお客さまとの相談を一番大切にしている。お体の様子、家族構成、ペットの有無、暮らしの動線、コンセントや中木などの置く場所の条件、趣味など、打ち合わせの中での雑談が作製の際の大切なヒントになることがある。またデザインの志向、お好みの樹種、使い方にあった塗装などもお訊きする。お話を伺った後、図面や見積もりをするが、作製は納得がいくまで相談してからになる。

木は自然からもたらされた素晴らしい素材。その木の質感を大切にしたい綺麗で使いやすい物を作りたいと思っている。日本人が暮らす空間では、奇抜な自己主張の強い家具よりも落ち着いたデザインがいい。でもそこに私なりにデザイン上の遊びやくすぐりを少し入れるようにしている。

家具はずっと人の暮らしに寄り添い、家族と共に年を取る。その家庭の歴史を刻み、家族の一員になってもらいたいと思って作っている。特別な贅沢品としてではなく、市井の人がちょっと奮発すれば買えるような物をお届けしたい。

代表者 丸山 一夫

住 所 上野村新羽601

電 話 0274-59-2950

メール maruchan@uenomura.ne.jp

H P <http://maruyama-w.com>

作 品 注文家具 (全般)



CRAFTERS
~ BAMBOO AND OTHERS ~

青木工芸

Aoki-Kogei

上野村生まれ。幼い頃より家業の竹工芸に親しむも、父親の「外の世界を知ってこい」の言葉に促され一度は村外に就職。その後上野村にUターン、10年ほど漆の仕事を経験し、慣れ親しんだ竹工芸の作家として独立。

上野村の素材に愛着を持ち、上野村内産の真竹、漆を採取するところから自分で行う。素材は同じ上野村内でも採取する場所によって特性が違ふ。その見極めが仕事の第一歩。竹材の採取は通常秋に行う。生育1年目の若竹は縁巻きなどに、また生育3年から5年の熟成した竹は強度を求められる胴編みなどの構造材に使用される。

採取された竹はその後炭火であぶり油を拭き取った後天日にさらして乾燥させた後、2年から6年寝かせて使用する。なお、上野村産の竹は節間が短くかつ、節が高く固いため加工が難しいが、反面一度加工して作品にするとときわめて強度の高い物となる。

市販の漆は中国産のものが圧倒的に多く、また製漆する業者によっても品質に大きな違いが出る。上野村には少量ではあるが、まだ漆の木が自生しているため自分で採取してそれを使用している。

これからも大量消費になれている人ではなく、一つの物を愛着もって使ってくださいの方々のための作品作りを目指していきたいと思っている。

AMSCスペイン芸術賞、モナコ公国名誉賞、世界平和文化功労賞受賞など多数受賞。

2019年2月 群馬県ふるさと伝統工芸士 認定

代表者 青木 岳男

住 所 上野村檜原1258

電 話 0274-59-2743

H P 開設準備中

作 品 編竹品（ザル、籠、花器など）





手づくりつる工芸

Tezukuri-turu-kougei

上野村生まれ。木工房K.KUROSAWAを設立しワイドサンダー、レーザー加工機、パネルソー、バイリッヒホルダーなど高度工作機械を設置し、本格的な木工品（臼、杵、積み木、玩具）を製作する。

また、10年前より山ぶどう蔓バッグの生産に着手し、県内各地で作り手を育成し製造拠点を設けてきた。旧来の作風にとらわれず、若い人たちも使える独創的なデザインを発想し丁寧な編み方にこだわり群馬のつる工芸作家としてのブランド化に努めている。

弊社の山ぶどう蔓バッグには耐久性があり丈夫で長持ち、また経年変化で色が黒くなると艶を増し、大島紬や藍染め、久留米紬などの和装からカジュアルなジーンズなどの洋装にも幅広くマッチし人気を博している。

蔓は新芽が出て水を吸い上げている6月に採取するが、その時期を逃すと皮がはげなくなる。蔓を採るのは本当に限られた時間である。剥いだ皮は水につけ、なめし、鬼皮を落として乾燥させ、裁ちばさみで幅を一定に切るなど、非常に手間暇がかかる。おおよそ製品の仕上がりまでに1ヶ月程かかる。

原料の山ぶどう蔓は標高1,000メートル以上の山に自生しており県内では吾妻、利根、沼田山系で主に調達している。蔓は上野村にも自生しており、趣を同じくする仲間の上野村の新たな産業としてブランド化させ発展させていきたい。弊社の山ぶどう蔓バッグには柿渋染の内布がついており、一年中使える。購入後、10年は無償修理保証している。

長い間培ってきた職人の技をもって手作り白の販売も行う。

代表者 黒澤 一敏(k.kurosawa)

住 所 上野村檜原134

電 話 0274-50-8039

メール e-meiboku@e-meiboku.com

H P <https://emeiboku.shop-pro.jp/>

作 品 山ぶどう蔓編（籠、バッグ）、無垢の木の積み木や白

花いちもんめ工房

Hanaichimonme-Kouboh

ふるさと上野村で何かできないかと農業を営む女性の会のメンバーが平成3年に集まったのがきっかけ。当時は役場の一角を借りていたが、自分たちの拠点がほしいと平成8年に道の駅向かいに工房を構える。現在のメンバーは6名。

主にドライフラワーを使ったりリースなどを制作するとともに、上野村のイベントなどではリースづくり体験教室も開催している。

素材にこだわり、自分たちの手で花を栽培したり、上野村の山々から木の実、藤弦といった恵みを分けてもらい、乾燥まで一貫して手作業で行っている。自然の風合いを活かすため、乾燥機ではなく自然乾燥を行っている。

上野村は標高があるのでドライフラワー作りには向いている。朝晩の寒暖差が植物の色と香りを引き立たせる。

小さな物から大きな物まで制作している。最近は結婚式などのブーケに使うことも多い。また、オーダーメイドで大きな物を注文されることもある。正直都会のお花屋さんで数万円もするようなデザインの物よりも生産者直売の分、安くてもクオリティーも高いと自負している。

定期的に集まりメンバーの技術を向上させる勉強会も開催している。

花に触れることで子供たちの豊かな感性を育て、お小遣いの範囲で親へのプレゼントができるようにと始めた体験教室は今では大人にも大変人気があり、イベントなどに出席すると長蛇の列ができています。

平成18年 群馬県生活研究優良グループ表彰受賞

代表者 江川ます子

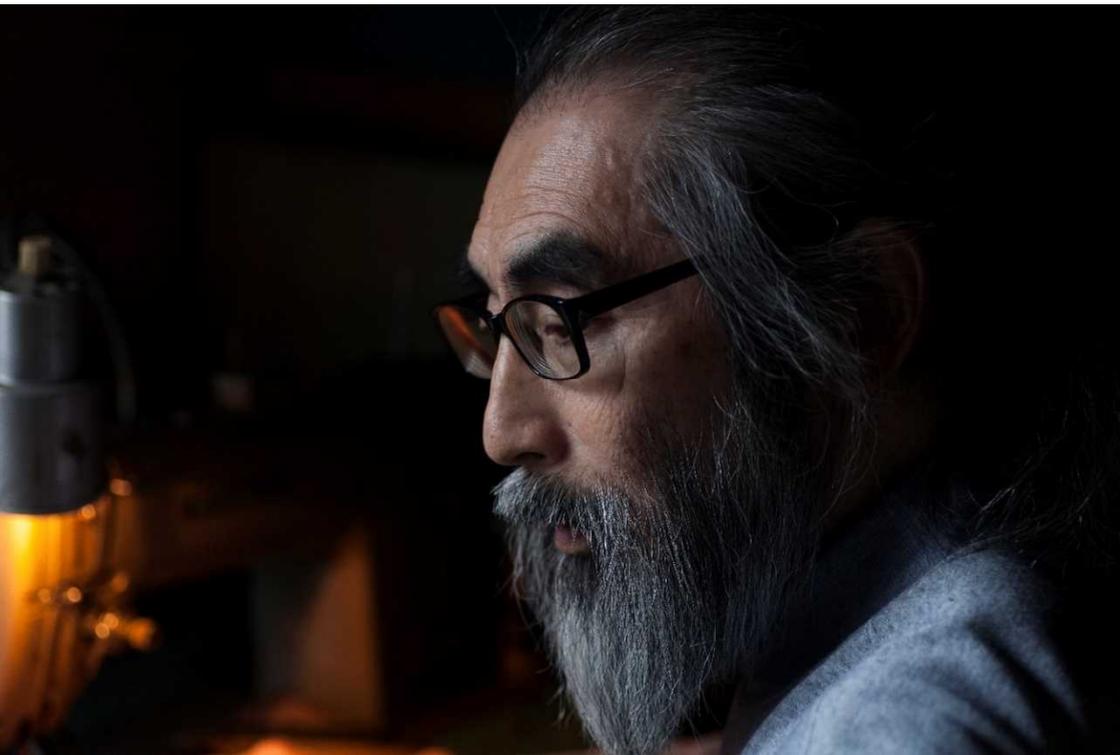
住所 上野村勝山130-1

電話 0274-59-2531

H P 開設準備中

作品 ドライフラワーアレンジメント、体験教室





大和美術工芸

Yamato-Bizyutu-kougei

文化人の多かった神奈川県茅ヶ崎市で父親と仕事をしてきたが、人口が増加する都会では創作活動に支障を来したため、上野村に移住した。

作風は父、征甫が開発した真竹、虎斑竹、孟宗竹などをモザイクのように布地に貼り仕上げていく特許工法である。父はこの工法で日本で初めて竹のハンドバッグを発表する。父の技術を踏襲しながらも、時代に合わせて商品の構成を新しくしている。今では名刺入れや、タブレットカバーとしても使える各種カバー、財布などを制作している。

現在は高知県の一部でしか産出しない虎斑竹を主に使用している。竹は木材と違い使える部分が限られるので貴重な材料である。虎斑竹は模様が美しいのが特徴である。半年から1年間の乾燥を経て、実際に使えるようになるが、竹は生き物なので伸び縮みをする。購入して頂いた後も生きていることを念頭に置いて制作を行っている。

竹細工のいいところは時間の経過により色が変わってくることだ。使えば使うほどに飴色になり光沢が出てくる。色艶や手触りの良さを是非とも楽しんでもらいたい。

竹細工は編み物で籠など安い物が多かった。工芸品としての評価にこだわり芸術性を増し、デパートで個展を開くなどしている。やればやるほど自分の未熟さを感じる。

夏の連展「大日本現代美術家連盟賞」受賞、第45回新協展「東京都知事賞」受賞、グッドデザインぐんま「匠賞」をはじめとして様々な評価を獲得。

代表者 宮川 弘尚

住 所 上野村新羽1342-1

電 話 090-4628-8232

メール m.hironao@hotmail.co.jp

H P <https://www.yamato-bizyutukougei.com/>

作 品 竹工芸（財布、名刺入れ、バッグなど）

GIFTS

TRADITIONAL CRAFTS

群馬県内で伝統工芸品の製造に従事している者のうち、高度の伝統技術・技法を保持する者を「群馬県ふるさと伝統工芸士」として知事が認定するもので、認定にあたっては高度の伝統技術・技法、知識を有するなどが必要となります。上野村には群馬県ふるさと伝統工芸士を認定された職人が二人もいます。

その作品は丈夫で長持ちであることはもちろん、使い心地も抜群です。

また、この貴重な技術を受け継いで頂ける方の募集も行っております。



AK-01



IH-01



AK-02



AK-03



IH-02



IH-03



IH-04

AK-01 鉄線編拭漆盛器
直径37cmの盛籠。果物などを乗せてお使いください。
青木工芸 寄付金額 80万円

AK-02 バスケット
内寸29×12×16cm 漆で仕上げてありますので丈夫で長持ちします。
青木工芸 寄付金額 6万円

AK-03 6寸そばザル
直径22cm 手打ちそばでも市販のそばでもおいしさを引き立たせるそばザル。使用後はよく乾燥させることで長持ちします。
青木工芸 寄付金額 1万円

IH-01 こね鉢
国産欲使用。そばやうどんをこねるのに最適な鉢です。
今井挽物工芸社 寄付金額 10万円

IH-02 内反碗
国産欲使用。漆仕上げ。スプーンで食べやすいよう内反りにになっている（内側がに傾斜した）碗です。今井挽物工芸社 寄付金額 2万円

IH-03 湯飲み
国産欲使用。漆仕上げ。暖かい物は暖かく、冷たい物は冷たさを保つ湯飲みです。今井挽物工芸社 寄付金額 2万円

IH-04 碗
国産欲使用。漆仕上げ。人気で製造が追いつかず、入手まで半年待ちというお碗。手にフィットする感覚がたまらない。
今井挽物工芸社 寄付金額 2万円



SK-01



YB-05



SK-02

YB-01 香入れ【帯下げタイプ】
平成19年度クラフト部門匠賞受賞。虎斑竹使用。お香を入れて持ち歩くことができます。ストラップとしてもアクセントになります。ひも色は緑か黄色が選べます。大和美術工芸 寄付金額 3万円

YB-02 香入れ【ペンダントタイプ】
お香を入れて持ち歩くことができます。ストラップとしてもアクセントになります。大和美術工芸 寄付金額 2万円

YB-03 A5サイズブックカバー
平成21年度クラフト部門匠賞受賞。A5サイズのカバーです。8インチのタブレットのカバーとしても使用することができます。あなたの個性を引き出します。大和美術工芸 寄付金額 6万円

YB-04 B5サイズブックカバー
B5サイズのカバーです。10インチのタブレットのカバーとしても使用することができます。大和美術工芸 寄付金額 9万円

YB-05 麻乃葉名刺入れ
平成20年度選出。虎斑竹使用。名刺交換をした時から話が弾むこと間違いなし。名刺が20枚収納できます。大和美術工芸 寄付金額 6万円

SK-01 テーブル（一点物）
平成20年度選出。90×60×70cm。中央にガラスをはめたデザインのテーブルです。匠平工房 寄付金額 35万円

SK-02 U-NUTS CLUB 写真立て&地図手ぬぐい
平成22年度選出。上野村の木の实をイメージして作った、はがきが入る写真立てです。台付きで縦でも横でもおくことができます。上野村の地図をかたどった手ぬぐい付き。匠平工房 寄付金額 1万円

GOOD DESIGN GUNMA

群馬県では、本県産業の一層の発展と多彩で魅力的な商品開発の促進を図るため、県内のデザインに優れた工業製品等を選定・推奨する「グッドデザインぐんま商品選定事業」を実施しています。上野村でも数多くの工房が選出されています。



YB-02・YB-01



YB-03・YB-04



TOYS & SMALL PRODUCTS

上野村は「ウッドスタート」宣言をしています。この活動では、「木」を真ん中に置いた子育て・子育て環境を整備し、子どもをはじめとする全ての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようにしていく取り組みです。

木材と触れることは脳に良いことが最近の研究でわかっています。そこで赤ちゃんが初めて出会うおもちゃ「ファーストトイ」に上野村の木工品はいかがでしょうか。感性豊かな乳幼児期に、香り、さわり心地、味わいなど五感に程よい刺激を与える木のおもちゃは最適です。

また、木のぬくもりを大切にしたい小物に囲まれ、森を感じて癒されませんか。インテリアにこだわりのある人でも合わせやすい雑貨を取りそろえています。



KR-01





KK-01 ・ KK-02



KR-02



KR-03



KK-03

KK-01 つみきセット (25ピース)
 30×25×13cm 収納箱もタイヤがついてひっぱって遊べるようになって
 います。小さなお子様も遊んでも飲み込めないサイズ (最小3cm角)
 です。木まま工房 寄付金額 2万円

KK-02 つみきセット (50ピース)
 30×25×18cm 25ピースの倍でたっぷり遊べます。大きなピースから
 簡単に収納できます。木まま工房 寄付金額 3万円

KK-03 ツリー
 20×12×35cm 大きな鍵は穴に差し込み、小さな鍵はフックにかけて
 使用します。アクセサリかけや、花を活ける、クリスマスリーなど使い
 方はいろいろです。木まま工房 寄付金額 1万円

KR-01 ドールハウスセット
 47×23×46cm プナ材。窓付きドールハウスと椅子×4とテーブルの
 セット。こるぼっくる 寄付金額 10万

KR-02 ダストボックス
 使い勝手の良い19×19×42cm。タモ材を使用したゴミ箱
 こるぼっくる 寄付金額 2万円

KR-03 ペン立て、しおり、楊枝立て、ストラップセット
 タモを使って自然の色合いを活かしたペン立てをはじめ、しおり、ス
 ッラップ各1のセットです。こるぼっくる 寄付金額 1万円



SK-04



TT-01

SK-03 ぐい呑みセット

貴重な木である上野村産の「しおじ」をはじめとした素材に、漆を通常の倍以上の塗りを行った片口とぐい呑み、24cmの8寸角盆のセットです。

匠平工房 寄付金額 10万円

SK-04 カuttingボード

右利きの人でも左利きの人でも使いやすいように持ち手を作り、丈夫に仕上げたまな板です。包丁あたりがスムーズです。

匠平工房 寄付金額 2万円

TT-01 けやきPRO 4 升白と杵セット

Φ47~50cm×48cm良質な櫟を使用。白職人k.kurosawaが一品一品丁寧に仕上げた白。内部は懐の深いミカン彫り、使いやすさを追求した本格PRO仕様。外部には割れ防止のためウレタン塗装しています。

手づくりつる工芸 寄付金額 30万円

TABLEWARES

木材は熱を伝えにくく、冷めにくいという特徴があります。冷たい物は冷たいままに、暖かいものは暖かいままに食べられるのが特徴です。

また漆には抗菌作用もあります。強い力でこすると漆がはげる場合もありますので、お手入れの際はたわしでこするなどをせずに、柔らかいスポンジで軽く拭くことをおすすめします。

漆がはげて木地が見える前に塗り直しを行うことで長持ちします。



SK-03

PLANTS

上野村には多種多様な植物が花を咲かせています。その花を愛でるもよし、蔓を使って工芸品を作ることもできます。

上野村の花々の香りや質感をお楽しみください。



TT-02



TT-03



TT-04



TT-05



HK-01

- TT-02 山ぶどう蔓バッグ
35×12×27cm 国産山ぶどう蔓を職人による吉祥編み。中は柿渋染。
手づくりつる工芸 寄付金額 30万円
- TT-03 山ぶどう蔓バッグ
27×12×26cm 国産山ぶどう蔓の一番皮を使い3ミリで仕上げる。中は
柿渋染。手づくりつる工芸 寄付金額 35万円
- TT-04 山ぶどう蔓バッグ
32×12×27cm 国産山ぶどう蔓を職人による六角花編み。中は柿渋染。
手づくりつる工芸 寄付金額 35万円
- TT-05 山ぶどう蔓バッグ
32×10×27cm 国産山ぶどう蔓の一番皮を使用。中は柿渋染。和装に
おすすめ 手づくりつる工芸 寄付金額 50万円
- HK-01 リース (カスタムメイド)
約30cm程のリースをお客様の御希望に合わせて制作致します。色味などの
希望をもとに、その時期のお花で作成致しますので何が出来るかは届い
てからのお楽しみ。 花いちもんめ工房 寄付金額 2万円



YB-06



KK-06



SK-05

KK-04 アニマルチェア 肘無し
第1回グッドデザインぐんま大賞受賞。32×26×18.5cm(座面まで)ブナ材を使いオイルを使って仕上げた子供用の椅子。大人が座っても十分な強度があります。 木まま工房 寄付金額 3万円

KK-05 アニマルチェア 肘付
第1回グッドデザインぐんま大賞受賞。32×26×18.5cm(座面まで)小さな子供が毎日使う物なので手触りも翌見た目もかわいいと思える動物の背もたれにしています。 木まま工房 寄付金額 4万円

KK-06 ネコいす
32×26×35cm(座面まで)ちょっとかわいいと思えるデザインで、玄関先で靴を履くときにちょっと座れる高さ。
木まま工房 寄付金額 4万円

SK-05 スツール
Φ35×50cm。人気のオールナットを昔ながらのほぞ組で仕上げた椅子です。座りやすいように座面の丸め方などを工夫しています。
匠平工房 寄付金額 10万円

YB-06 小机麻乃葉揃(一点物)
真竹、檜材を使用した机と椅子。机93×43×71cm。椅子34×30×49cm。「ぎりぎりまで削ぎ落とし端正さの中に強靭さを求めて」が今作品のテーマでもありました。 大和美術工芸 寄付金額 300万円

FURNITURE

木や竹製品は加工されてもまだ生きています。そのため吸湿性や放湿性などを有し、四季のある日本で使うのに向いています。

また私たちの祖先がまだ猿だったころは森で暮らしており、木材や竹など自然由来の物には癒やしの効果があることが知られています。上野村の木材に囲まれて森を感じてみませんか。



KK-04



KK-05

ORDER MAID FURNITURE

樹種、塗装、デザイン、寸法など、お好みで作れる木製の注文家具。あなたのお部屋にぴったり合った作品を家具職人がご提案致します。

職人と作り上げていく楽しみは経験した人にしかわからないワクワク感です。作品のデザインを決めたらいよいよ制作になりますが、納品までは半年ほどかかります。作品を待つのも楽しみな時間です。

あなただけの家具をお届け致します。



MK-01



MK-02



MK-03

MK-01 サイドボード (注文家具)

お客様のご要望に合わせて家具を特注致します。別途打ち合わせが必要になります。写真は140×80×40cmのサイドボードです。

丸山木工房 寄付金額 85万円

MK-02 椅子 クルミ (注文家具)

お客様のご要望に合わせて特注致します。別途打ち合わせが必要になります。写真は45×45 (SH40) ×70cmの椅子です。

丸山木工房 寄付金額 20万円

MK-03 椅子 ブラックウォールナット (注文家具)

お客様のご要望に合わせて特注致します。別途打ち合わせが必要になります。写真は45×45 (SH40) ×70cmの椅子です。

丸山木工房 寄付金額 25万円



AN-02



AN-01



AN-03

YS-01 手織りストール (一点物)

25×170cm小鮎草、五倍子、日本茜、藍、シオジで手染めした絹糸を使用して手織りしたストールです。 紬樹の雫 寄付金額 5万円

YS-02 草木染め大判ストール (一点物)

70×180cm絹製。左から黄色は小鮎草、オレンジ色は小鮎草、淡いグレーは五倍子、濃いグレーは五倍子、緑色は小鮎草で染めたストール。
紬樹の雫 寄付金額 3万円

YS-03 草木染めストール (一点物)

55×180cm絹製。10月初旬にしか採取することができない自家栽培の小鮎草の穂を使い、草木染めでは珍しい緑色のストールです。
紬樹の雫 寄付金額 3万円

AN-01 まちありショルダーバッグ (一点物)

25×24cmのショルダーバッグ。マチがありますので、いろいろな物を入れてお使い頂けます。内ポケットには表地と同じ素材を使いわかりやすくしています。ひもは調整できます。あん 寄付金額 2万円

AN-02 ショルダーバッグ (一点物)

24×22cmのスマホや財布を持ち歩くのに便利なショルダーバッグ。ひもの一端には金属製の金具が附いており、アクセントになっています。
ひもの長さは130cm。 あん 寄付金額 1万円

AN-03 ミニバッグ (一点物)

14×14cm スマホや鍵、財布を持ち歩くのに便利。
あん 寄付金額 1万円

CLOTHS

上野村の大地が育んだ草木を使った染め物や、特殊な技法で作った品など作家の個性あふれる作品はあなたへの周りの視線が変わること間違い無しです。



YS-01



YS-02



YS-03

ACTIVITIES

上野村では森林資源の地産地消を進めています。森林資源の地産地消が雇用をうみ、森林資源の地産地消が雇用を生み経済が巡ります。広葉樹林を25年サイクルで再利用し、林業の再生が可能になります。

上野村にお越し頂き、工房を見学したり、体験したりしてみませんか。実際に工房にお越し頂くと、作品を見ただけでは伝わらない技術の奥深さをご覧ください。



HK-02



YS-04



SP-01

HK-02 リースづくり体験（ペア）

上野村の工房にお客様のご都合の良い時間にお越し頂き、リースづくり体験を行います。自分で作る作品は既製品とは味わいが違います。標準

体験時間 1時間程度（工房までの交通費は自己負担）

花いちもんめ工房 寄付金額 1万円

YS-04 草木染め体験（昼食付き）

上野村の工房にお客様のご都合の良い日にお越し頂き、ストールの草木染め体験を行います。お客様の希望色に合わせて植物を選定します。標準

体験時間10:00～16:00（工房までの交通費は自己負担）

紬樹の雫 寄付金額 2万円

SP-01 工房見学（ペア）

本紙掲載の工房2カ所をご案内致します。お客様のご都合の良い時間にお越し頂きます。見学時間 1工房あたり30分程度（上野村までの交通

費は自己負担） 上野村商工会 寄付金額 2万円

HOW TO USE YOUR DONATIONS

輝く山村ふるさと上野村応援寄付

上野村は、関東一の清流「神流川」や関東山地の山々など豊かな自然環境を保全するとともに、村固有の伝統文化の継承、住民の生活を支える産業興しや村を訪れる多くの観光客に喜んでいただける観光産業の振興、そして、次世代を担う子ども達の健全育成など「栄光ある上野村」建設のため村民一致団結して村づくりに取り組んでいます。そんな上野村の村づくりに貴方の参加をお願いいたします。「ふるさと上野村に貢献したい!」「上野村出身ではないけれど応援したい!」という想いを寄附という形で実現し、一緒に村づくりに参加してみませんか。是非、上野村の出身でない方は、上野村を「ふるさと」にしてみませんか。

上野村では以下の理念を念頭において寄附金を募集いたします。

上野村は、明治22年の町村制施行により誕生以来、耕作地の少ない農山村で貧困と戦いながら、先人の知恵と努力により自然豊かなふるさと上野村を守ってまいりました。厳しい自然環境等の中で培われた村民の自主自立の精神により、これからも不断の努力を積み重ね数少ない個性のある農山村として自主自立を目標として栄光ある上野村の建設を目指しています。

これら実現のためにも、未来に訪れる厳しい時代に対応し活力あるふるさと上野村を創造するためにも、村民はもとより上野村を愛し、愛着を持っていただける方々による、寄附を通じた新たな住民参加型の地方自治を構築してまいります。

今後は寄附者も村民と協働して「輝く山村ふるさと上野村」の自治の担い手として積極的に村づくりに参加できるよう、ここに「輝く山村ふるさと上野村」応援寄附金条例を制定し皆様の寄附金を募集いたします。

寄付の使い道

寄附金は、寄附者の「ふるさとへの想い」が託されたものであることを念頭に、次に掲げた事業の中から寄附者が指定した事業に充当し、村づくりに反映していきます。

なお、事業の指定がない寄附金は、村づくりの課題に応じて、村長が指定させていただきます。

1. 自然環境保全、景観の維持及び形成に関する事業
2. 森林づくり事業
3. 伝統文化及び工芸等の維持及び継承に関する事業
4. 特産品開発等産業振興対策に関する事業
5. 子どもの健全育成と「山のふるさと合宿かじかの里学園」の運営に関する事業

ご自身の控除額についてはお住まいの市町村にご確認頂くか、総務省のホームページでご確認ください。

上野村のふるさと納税の制度に関するお問い合わせ

上野村役場 振興課 ふるさと納税係

電話 0274-59-2111

〒370-1613 群馬県多野郡上野村川和11

NOTICES

本誌掲載品のお申し込み、お問い合わせ

上野村商工会

電話 0274-59-2254

〒370-1613

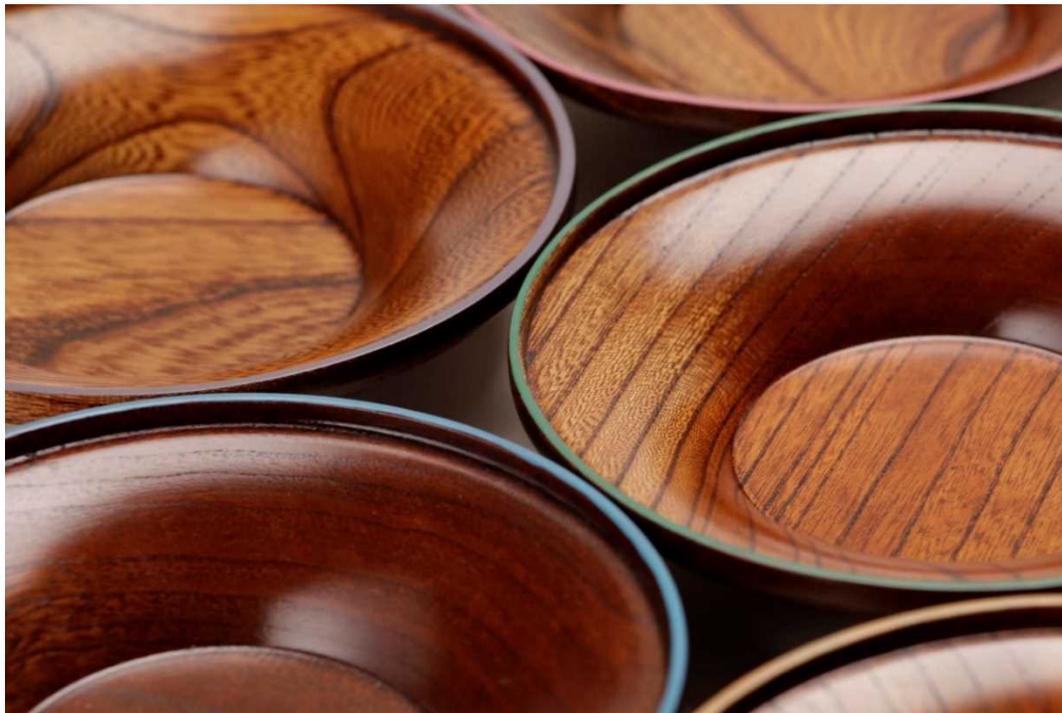
群馬県多野郡上野村川和11
村民会館2階

写真は全てイメージです。本文中のサイズは幅×奥行き×高さでおおよその大きさを記載しています。実際にお届けする作品の木目、色合い、質感などと異なる場合があります。注文家具以外は木目の希望は承れません。

商品によっては受注後の製作になる場合があります、半年程度お時間を頂くことがあります。

一点物は写真と同じ商品は先着一名様です。それ以降は似たようなイメージの商品となります。

あらかじめご了承ください。



制作著作 2019 上野村商工会